

自治体SDGs推進評価・調査検討会（第19回）の開催結果について （概要）

○日時：2019年10月17日（木） 9：30～17：00

○場所：永田町合同庁舎7階 特別会議室

○出席委員：村上座長、浅見委員、蟹江委員、城山委員、神成委員、
竹本委員、藤田委員

○実施内容：

2018年度に自治体SDGsモデル事業に選定された都市に対し、SDGs未来都市計画に基づく取組の進捗評価に係るヒアリングを行った。

議事：

① <ヒアリングの進め方について>

- 2018年度に選定されたSDGs未来都市（29都市）の2018年度の取組の進捗評価について、自治体SDGsモデル事業（以下モデル事業）に選定されていない19都市は書面による評価を行い、モデル事業に選定された10都市はヒアリングによる評価を行うことが確認された。
- ヒアリングの進行方法、都市からの説明内容、評価の方法、スケジュールについて確認された。
- 計画改定を行う7都市（北海道、ニセコ町、つくば市、神奈川県、長野県、富山市、小国町）について報告された。

②<ヒアリング>

- 2018年度にモデル事業に選定された10都市が、それぞれ2018年度の取組の成果を説明するとともに、SDGs未来都市等進捗評価シートに基づき取組に対する進捗状況について説明を行った。
- 都市からの説明を受け、委員から取組に対するヒアリング及び進捗評価を行った。

② <自治体SDGsの評価に関する基本的な考え方検討について>

- 昨年度にとりまとめた「自治体によるSDGsの取組の評価の視点」について、自律的好循環の形成へ向けた自治体の役割の新たな視点を補足するため、「自治体SDGsの評価に関する基本的な考え方検討ワーキンググループ」を設立し検討を行

うことが決定された。

- 委員より、各自治体においては社会面や環境面に対し経済面への取組が弱い都市が多いため、関心を持ってもらいたいと発言があった。

③ ＜その他＞

- ヒアリングを行わなかった都市（モデル事業に選定されていないSDGs未来都市）への書面による進捗評価については、10月末までに委員から事務局に提出し、ヒアリング時の評価と合わせて事務局で取りまとめたうえ、委員に確認後、公表されることが説明された。

以上